

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービス ぐりっと経塚		
○保護者評価実施期間	令和8年 2月 9日		令和8年 3月 7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 9日		令和8年 2月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○訪問先施設評価実施期間	令和8年 2月 9日		令和8年 2月 27日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 月 日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	さまざまな専門的知識を有する職員が在籍している (保育士・看護師など)	お子様と家族のニーズや課題に応じて、訪問先の職員へ具体的にわかりやすい内容で支援できるよう心がけている。職員への情報共有も行っています。	今後も、訪問支援で感じた問題点や課題等を把握し職員へ情報共有を行い、児童発達支援や放課後等デイサービスの事業にての支援に活かしていきたいです。
2	すぐに保護者へ情報を共有し、保護者との連携を図り支援内容を検討していけること。	保護者へはLINEを使用して支援内容状況をすぐに共有したり、訪問支援を行った職員が送迎などをし、送迎時にもお話をし支援の方向性をすぐに検討することができています。	引き続き保護者との連携を強化し、定期的な支援内容の話し合いをする場を設けていきたいです。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	就学時以降の支援内容等の共有を行う機会が少ない (小学校の担任へ伝える機会がない)	半年に1回程度のモニタリングの機会にお互いの情報共有は行っているが、こどもの育ちを考えると、もう少し短いスパンで情報共有し関係機関で支援の方向を合わせる必要があるが、各現場の状況で時間確保が難しい。	訪問支援なども活用し、情報共有できる機会を増やす。保育園やこども園・学校等の保育参観・授業参観などに参加していいか働きかける。
2			
3			